



「地震予知連絡会」って、聞いた事があるけど
どなたのところなの？



地震予知研究に携わる人たちが定期的に集まって、地震や地殻
変動に関する情報交換や学術的な検討をしているんだ。そして、
内容は記者会見などを通じて社会に発信しているんだよ！

地震予知連絡会は、昭和43年（1968年）に国で決定された「閣議了解」（政府として地震予知の実用化を促進する旨の閣議了解：昭和43年5月）などを踏まえて、地震予知に関する調査・観測・研究等に携わる人たちが、一堂に会して「情報の交換」とそれらに基づく「学術的な検討」を行うことを目的に、昭和44年4月に発足しました。国土地理院は発足当初から、この会議の事務局を担当しています。



地震予知連絡会委員が記者会見で説明

地震予知連絡会は、年4回定期的に東京都内（千代田区）で開催されています。

会議の委員は、地震に関する観測研究を行っている関係機関や大学等に所属している約30名で構成され、国内の地震活動や地殻変動の状況を報告したり、地震予知研究にとって特に検討すべき課題を「重点検討課題」として選定し、その分野の専門家を招いて情報共有と学術的な検討なども行っています。



地震予知連絡会ホームページ



第220回地震予知連絡会（平成30年8月24日）の様子

また、地震予知連絡会終了後は、記者会見を開催し、会議で共有された情報や重点検討課題で検討された内容を、分かりやすく発表するとともに、各機関等から提出された資料等をホームページで公開しています。

地震予知連絡会は、平成31年4月に発足50周年を迎えます。この節目に地震予知連絡会や地震予知研究・観測に関する「これまでの到達点」、「今後の方向性」などをテーマにして、平成30年度内に公開シンポジウムの開催を予定しています。

詳細が決まり次第、地震予知連絡会ホームページに掲載しますので、ぜひご参加ください。

<http://cais.gsi.go.jp/YOCHIREN/>